

校長だより 令和3年3月5日

島根県立大東高等学校
校長 田根 衛

その35

～ 3月、別れの季節となりました ～

【1】卒業式は来賓の方や在校生不在で行いましたので、その様子を少し紹介します。

前日の会場準備は初夏の陽気の中、1, 2年生が丁寧に大掃除や会場準備をしてくれました。卒業式当日は朝から雨となりましたが、多くの保護者・ご家族の方に来ていただきました。

式の始まりは卒業生入場からです。高校最後の時をかみしめるかのような静かで穏やかな入場でした。そして呼名、卒業証書授与と進み、在校生代表として生徒会長が送辞を、卒業生代表は前生徒会長が答辞をしました。どちらも心のこもった温かいもので、答辞では目に涙を溜めた生徒もいました。

卒業生退場の際には、卒業生全員が教職員席に向かって一斉に「ありがとうございました」のサプライズもありました。

卒業生たちの未来に幸多かれと祈っています。



(←) 保護者用の傘立てを用意しました。

(↓) 祝詞を生徒昇降口に掲示しました。



「鯉小僧」です

【2】～中庭の噴水について～

珍しく今日は噴水が出ているのは何故でしょうか？
(←) 写真は卒業式当日の中庭の噴水です。池の真ん中に大きな鯉を抱いた「鯉小僧」のブロンズ像があります。90周年誌によると、これは50周年のときに在職職員有志が寄贈したもので、長い間この噴水は使用されていなかったようです。平成19年、当時の事務長遠藤知己氏がブロンズ像の鯉が噴水口であることに気づき、ツツジの植え込みの中にその止水栓を見つけました。そして水があがったのです。50周年のから39年後のことでした。それ以来、卒業式と入学式などの折々に、生徒の心に潤いを与え、またその情景が思い出の1ページになればとの思いから噴水を出すことにしたようです。

次の噴水の予定日は4月9日(金)、入学式の日です。